

1 シンガポールのインターナショナルスクール誘致制度について

2020年10月の人材省（Ministry of Manpower）発表の数値によると、いわゆる駐在員向けの在留資格である Employment Pass 保有者は約19万人おり、その帯同家族の数は公表されていないものの子女教育に対する一定のニーズはあるものと考えられる。

シンガポールのインターナショナルスクール誘致の制度について関係省庁であるシンガポール経済開発庁（EDB）に確認したところ、以下のとおりの回答であった。

- (1) 外国企業誘致等の国策として学校の誘致などを行っているか。

シンガポール政府としては海外の駐在員にとってシンガポールがビジネスを行う上で魅力的な場所であることを重視している。インターナショナルスクールについては駐在員の子女に対して多様で質の高い教育の選択肢を与えるものとして必要性は認識しているが、積極的な誘致はしていない。

- (2) 誘致をしている場合、どのようなインセンティブを付与しているか（校地校舎の貸与等、設立への補助、運営費補助、税制優遇措置など）

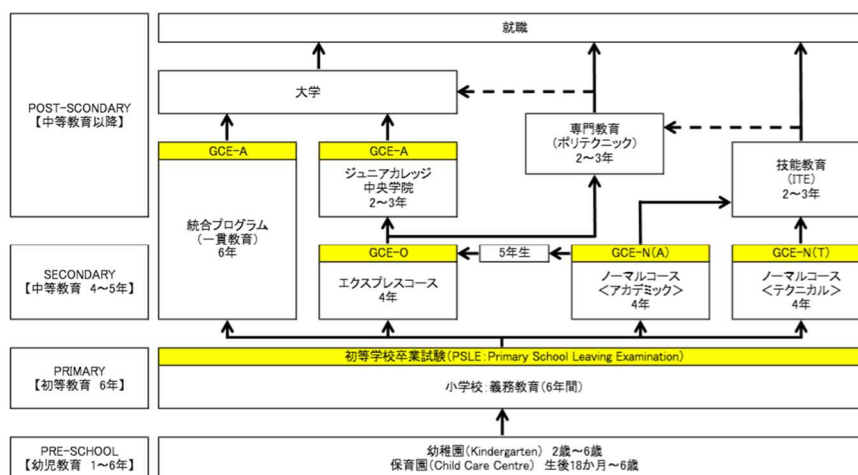
(1) のとおり、インターナショナルスクールを積極的に誘致しようとしているわけではないため金銭的なインセンティブは提供していない。

一方、新たなインターナショナルスクールの開設についても基本的に市場の動向に任せ、政府が介入することはないが、駐在員の人数の増減などを元に学校の需要と供給の状況などを毎年見直し、短中期的な予測を立てた上で不足が生じることが見込まれる場合、必要に応じて3年ごとに更新する最大9年間の条件で貸与される国有地（国立学校の廃校などの遊休施設）、または30年間の長期リース（この場合は遊休施設に限らない）の貸与を公募により行っている。希望する学校設置者に対しては過去の実績、学級規模（教員：生徒の人数）、提供するカリキュラム、財政基盤などの審査基準を伝える非公開のブリーフィングを行った上でプロポーザルを募集し、リース先の学校を決定する。

公募は2008年に第1回が行われ、その後2010年、2012年、2015年に行われた。この公募を機にいくつかのインターナショナルスクールが開校し、現在も安定した運営を行っているとのことだが、2015年を最後に実施されていない。その理由としては、シンガポール政府として外国人に対するビザ発給を制限するなどの人数管理を行った結果、教育施設への需要も一定程度で安定しており、あえて介入する必要がないためである。

(3) 教育環境について

【教育体系】



【学校数（インターナショナルスクールは数値非公表）】

	初等学校	中等学校	ミックスレベル ¹	ジュニアカレッジ等	計
国立校 ²	145	104	4	11	264
政府補助校 ³	41	28	3	4	79
独立校 ⁴	0	2	6	0	8
特別独立学校 ⁵	0	1	3	0	4
特別学校 ⁶	0	4	0	0	4
計	186	139	16	15	356

※定員充足率や進学困難度についてはデータがなく不明。

1 ミックスレベルは多層レベルの教育課程を提供する「一貫校」（初等学校及び中等学校、中等学校及びジュニアカレッジ、中等学校3年次以降及びジュニアカレッジ）のこと。

2 政府が運営主体となる学校。

3 国立校の生徒数及び教員1人当たりの教育費支出額を基準に支給される政府補助金を受けながら、民間人が運営主体となっている学校。

4 政府補助校と同様、政府からの補助を受けながらも、スタッフやカリキュラム、運営方針等に大幅な裁量権が与えられた学校。教育レベルの高い学校のみが認定され、現在、ナンヤングールズハイスクール（Nanyang Girls' High School）等の8校となっている。

5 スポーツ、芸術、数学・科学などに特化した学校。

6 職業訓練コースが設けられている学校。

【参考】シンガポールにおける外国人子女に対する教育の選択肢

シンガポール在住の外国人子女に対しては、以下の選択肢が用意されている。

①現地校

Government School（国立校）と Government-Aided School（政府補助校）に大きく分けられる、原則としてシンガポールのカリキュラムで授業を行う学校。

新小学校（Primary School）1年生の場合希望する学校に入学申込を行うことになるが、シンガポールの小学校は学校選択制が取られているため希望者が多い学校では兄弟姉妹が通っていることなどの優先順位をもとに入学者が決まる。さらに、国民や永住権保有者と比較して外国人の優先順位は低く、選択肢は少ない。

小学校2～5年生の場合は英語と算数の編入試験があり、その試験に合格しないと小学校入学の資格が得られず、入学できる学校も空きがある学校に限られるほか、中学校（Secondary School）に進学するためには小学校卒業資格試験（Primary School Leaving Examination：PSLE）という試験に合格する必要がある。

ちなみに、PSLEは単なる学力テストではなく結果によってその後の進路が決まってしまうことからシンガポールの子どもにとっては人生を左右しかねない非常に重要なテストである。

なお、現地校の新学年は1月からで、義務教育は小学校6年間。

（参考）<https://beta.moe.gov.sg/international-students/admission/>

②外国人学校

特定の国籍の子女を対象とした学校。原則として各国のカリキュラムに沿って授業を行う。シンガポールには日本人対象の学校としてシンガポール日本人学校（チャンギ校、クレメンティ校、中学部）、早稲田渋谷シンガポール校の4校が文部科学大臣から在外教育施設として認定を受けている。

（参考）

- ・日本人学校は、文部科学大臣から、国内の小学校、中学校、若しくは高等学校と同等の教育課程を有する旨の認定を受けており、日本人学校中学部卒業者は、国内の高等学校の入学資格を、高等部卒業者は、国内の大学の入学資格をそれぞれ有します。教育課程は、原則的に国内の学習指導要領に基づき、教科書も国内で使用されているものが用いられています。
- ・私立在外教育施設は、国内の学校法人等が母体となり海外に設置した、全日制教育施設です。平成27年4月15日現在、世界に8校が設置されています。私立在外教育施設は、文部科学大臣から、国内の小学校、中学校、若しくは高等学校と同等の課程を有する旨の認定又は、相当の課程を有する旨の指定を受けており、私立在外教育施設の中学部の卒業者は国内の高等学校の入学資格を、

高等部卒業者は国内の大学の入学資格をそれぞれ有しています。
(文部科学省 HP より)

③ インターナショナルスクール

特定の国籍に限定せず生徒募集を行う学校。日本と同様に WASC などのインターナショナルスクールの国際団体に加盟しており、高等部卒業時にアメリカ、イギリスなどの高校卒業資格が得られる学校が多い。シンガポールの法的には私立教育法 (Private School Act) という公立学校とは別の法律の対象。

シンガポールは小学校 6 年間は義務教育であり、その間シンガポール国民は上記①の学校に通い、指定のカリキュラムを終了することが義務教育法に定められている。そのため、シンガポール人の子供 (他国との二重国籍者に限るなどのルールが学校ごとに定められている) がインターナショナルスクールの小学部に通う場合は事前に教育省の承認が必要となる。

なお、シンガポールでは私立教育法により全ての教育機関は政府の認可を受ける必要があり、閉鎖命令も含めた権限が政府に認められているため、無認可校は存在しない。認定を行っているのは私立教育委員会 (Committee of Private Education : CPE) であり、認定のための要件 (設備面積、評議委員会の設置など) は私立教育法の政令によって定められている。

各学校にはこの委員会から発行された認可番号 (CPE Registration Number) が付与され、学校のウェブサイト等にはこの番号が記載されているのが一般的である。

2 インターナショナルスクールに関する情報

(1) Singapore American School

① 学校名 Singapore American School

② 特色 アメリカの高校卒業資格を取れることから、卒業後の進学先大学はアメリカ 78%、英国 9%、カナダ 7%、その他オーストラリアやアジアとなっておりアメリカが圧倒的に多い。WASC 加盟校。

③ 対象 幼～高

④ 児童・生徒数 約 4,000 人

⑤ 児童生徒の主な国籍

アメリカ 55%、アメリカ (他国パスポート) 12%、インド 11%、中国 6%

⑥ 学費

年額約 40,000～55,000 シンガポールドル (学校種や米国籍の有無により異なる)

⑦ 入試倍率 一斉入試は行われず、空席がある学年において随時受け付け。

(参考) 入学にあたっての言語要件

幼稚園 なし

小学校1～3年生 なし(母国語でない場合追加の英語プログラムあり)

4年生以上 英語必須(補習なし)

⑧設立年 1956年

⑨設置者 私立

⑩認可の有無 あり

⑪バカロレア等の認証の状況 あり

Advanced Placement (AP) プログラム

⑫生徒の平均在学期間 4.7年

(2) United World Collage (UWC) South East Asia

①学校名 United World Collage (UWC) South East Asia

②特色 世界最大級の国際バカロレア認定校であり、WASC加盟校。

③対象 幼～高

④児童・生徒数 5,553人

⑤児童生徒の主な国籍

(在校生の出身地域)

アジア 49.9%、欧州 27.5%、北中米 11.7%、オセアニア 9.7%、アフリカ 0.7%
南米 0.5%

⑥学費

1年目 年額約 40,000～47,000 シンガポールドル (学校種により異なる)

2年目以降 年額約 36,000～43,000 シンガポールドル (同上)

⑦入試倍率 非公表。入学者の受付・選考は年2回。

⑧設立年 1971年

⑨設置者 私立

⑩認可の有無 あり

⑪バカロレア等の認証の状況 あり

International General Certificate of Secondary Education (IGCSE)

国際バカロレア (DP)

⑫生徒の平均在学期間 非公表

(3) Tanglin Trust School (幼～高)

①学校名 Tanglin Trust School

②特色 英国の教育システムに従った教育を提供している。卒業生の進学先は英国 64%、アメリカ 11%、オーストラリア 6%、カナダ 2%など。

③対象 幼～高

④児童・生徒数 約 2,800 人

⑤児童生徒の主な国籍

英国、インド、オーストラリア、マレーシア

⑥学費

年額約 28,000～46,000 シンガポールドル（学校種により異なる）

⑦入試倍率

入学者の受付はウェイトリストに沿って行い、申し込んだ段階で職員の子、一定額の寄付金の納入、親が卒業生、など学校が定めた優先順位に沿って入学者が決まる。英語の補習授業等は提供せず、入学時に年齢に応じたレベルの英語力があることが条件となる。

⑧設立年 1925 年

⑨設置者 私立

⑩認可の有無 あり

⑪バカロレア等の認証の状況 あり

International General Certificate of Secondary Education (IGCSE)

国際バカロレア (DP)

⑫生徒の平均在学期間 非公表

(4) ISS International School

①学校名 ISS International School

②特色 英語や日本語の補習クラスを備えるなど、児童生徒の多様なニーズに対応した教育を特徴とする

③対象 幼～高

④児童・生徒数 600 人

⑤児童生徒の主な国籍

非公表（50 か国以上の児童生徒が在籍）

⑥学費

年額約 28,000～41,000 シンガポールドル（学校種によって異なる）

⑦入試倍率

不明。入学者の受付は随時行っている。

⑧設立年 1981 年

⑨設置者 私立

⑩認可の有無 あり

⑪バカロレア等の認証の状況 あり

国際バカロレア (PYP,MYP,DP)

⑫生徒の平均在学期間 非公表

(5) GEMS World Academy

①学校名 GEMS World Academy

②特色 幼・小学部 (IB PYP)、中等部 (MYP)、高等部 (DP)、キャリア関連 (CP) まで一貫して国際バカロレアプログラム (IB) を提供する IB 認定校

③対象 幼～高

④児童・生徒数 非公表

⑤児童生徒の主な国籍

英国・欧州 23%、アメリカ・カナダ 15%、オーストラリア・ニュージーランド 9%、東アジア 21%、南アジア 17%、その他 15%

⑥学費

年額約 12,000 (幼稚園の半日コース) ～40,000 シンガポールドル

⑦入試倍率

不明。入学者の受付は随時行っている。

⑧設立年 2014 年 (2010 年実施の EDB による公募の結果設立)

⑨設置者 私立

⑩認可の有無 あり

⑪バカロレア等の認証の状況 あり

国際バカロレア (PYP,MYP,DP,CP)

⑫生徒の平均在学期間 非公表

(6) NEXUS International School

①学校名 NEXUS International School

②特色 音楽やスポーツなどにも力を入れ、2020 年に移転した新施設に充実した設備を備えた学校

③対象 幼～高

④児童・生徒数 950 人

⑤児童生徒の主な国籍

非公表 (51 の異なる国籍の児童生徒が在籍)

⑥学費

年額約 22,000 (幼稚園の半日コース) ～40,000 シンガポールドル

⑦入試倍率

不明。入学者の受付は随時行っている。

⑧設立年 2011 年 (2015 年実施の EDB による公募の結果 2020 年に移転)

⑨設置者 私立

⑩認可の有無 あり

⑪バカロレア等の認証の状況 あり

国際バカロレア (PYP,DP)

⑫生徒の平均在学期間 非公表



Home » Articles » Press Releases » 2008 » Government Committee Launches First Request-for-Interest for Foreign System Schools

GOVERNMENT COMMITTEE LAUNCHES FIRST REQUEST-FOR-INTEREST FOR FOREIGN SYSTEM SCHOOLS



FOR IMMEDIATE RELEASE
19 August 2008



A Government committee, chaired by the Singapore Economic Development Board (EDB) and comprising key members including the Singapore Land Authority (SLA), is inviting proposals under Request-for-Interest (RFI) to set up foreign system schools (FSS). The proposals will be assessed based on a matrix of factors including quality of project, ability to meet market demand, investment commitments as well as the commitment to commence classes in academic year 2009.

2. Singapore's strong economic growth over the years has attracted an influx of foreign talent relocating here. In recognition of the increasing demand for FSS in Singapore, there is keen interest among both existing FSS and new players to expand and set up new operations in Singapore respectively. The RFI is therefore a key whole-of-Government initiative in response to the development in the FSS sector.

3. SLA has been working with EDB and other Government agencies to offer sites for education-related uses to cater to the growing demand. To date, 19 international schools are using State properties as campuses. Some examples include the Canadian International School, United World College of South East Asia, International Community School, and Avondale Grammar School.

4. A total of 7 State buildings and land parcels, namely, 4 "Brownfield" (existing vacant school buildings) and 3 "Greenfield" (existing vacant land) sites, have been identified for use as FSS. The sites were selected based on locality, convenience, availability, space and ease of adaptability. With the exception of 279 Upper Serangoon Rd, the other "Brownfield" sites will be let out via tenancy with an initial term of 3 years, with an option to renew for another two terms of three years (i.e., 3+3+3). The "Greenfield" sites have a lease period of 30 years. More details of these sites can be found at [Annex A](#).

5. Interested foreign system schools are invited to submit proposals for specific sites with each school allowed to submit proposals for more than one site.

6. This is a Request-for-Interest exercise, and does not constitute an offer of the "Brownfield" / "Greenfield" sites listed. The Singapore Government reserves the right to decide whether to proceed with awarding the "Brownfield" / "Greenfield" sites at the end of the exercise, and to vary the specifications of the sites at its discretion.

7. Mr. Teo Cher Hian, Director of SLA's Land Operations (Private) Division, said: "SLA recognises that FSS are an important infrastructure to attract global talents to live and work in Singapore. Adapting former vacant schools for use as FSS not only optimises land resources, it also provides immediate solutions to cater to the growing demand since they are purpose-built with playfields and other ancillary facilities."

8. "The EDB is committed to meet the growing market demand for FSS and with this RFI, we believe that we will attract quality institutions who will contribute to a diverse mix of education services in Singapore," said Mr. Toh Wee Khiang, Director of

Education and Professional Services, Economic Development Board. "This RFI will not be a one-off exercise for us and we will continue to strengthen our competitive advantages as a global education hub by attracting more FSS to Singapore in line with market demand."

9. Information packages with details of the 7 Properties can be collected from the EDB counter during office hours from 20 August 2008. More information for submission of proposals is found on the EDB website (<http://www.sedb.com/>). All proposals should be submitted, together with the submission form to the following address by hand or by post no later than 19 September 2008 at 5pm sharp:

Economic Development Board
250 North Bridge Road
Raffles City Tower, Level 18
Singapore 179101
(Attn: Ms. Geraldine Goh)

10. Only shortlisted FSS(s) will be notified in the week of 22 September 2008 to attend interviews by the Committee. Selected FSS(s) will be notified in early October 2008. A closed-door briefing will be held for all FSS operators who are keen to learn more about this initiative and who may wish to participate. Details of the briefing are as follow:

Date : 22 August 2008
Time : 9.30 a.m.
Venue : Possibility Room
Level 5
National Library Board
100 Victoria Street
Singapore 188064

11. SLA will conduct site show-rounds to the four "Brownfield" sites for interested parties. Please refer to <http://www.sedb.com/> for more details. The "Brownfield" sites are also opened for FSS' viewing on their own from 25 - 29 August, 2009, 9am to 6pm.

12. For RFI enquires, please contact the following:
Ms. Geraldine Goh at (65) 6832 6049 or
geraldine_goh@edb.gov.sg

- The End -

[Back to Top](#)

Annex A: Details of the sites Option	Property(s)	Tenure / Lease Period Tenure /	Estimated Gross Floor Area Estimated (sqm) Gross	Estimated Land Area (sqm) Estimated

Option	Property(s)	Lease Period	Floor Area (sqm)	Land Area (sqm)
1	Property #1: Former Upper Serangoon Secondary School (279 Upper Serangoon Road) -- <i>Brownfield Site</i>	30 years <i>(Permanent Use)</i>	n.a.	3.5ha (approx)
2	Property #2: Former Nan Chiau High School (46 Kim Yan Road) -- <i>Brownfield Site</i>	3+3+3 years <i>(Interim Use)</i>	16,763	13,805.7
	and Property #3: "Lots 2598X-PT, 2958W-PT and 2597-PT MK 19 at Yishun, Yishun Ave 1" -- <i>Greenfield Site</i>	30 years <i>(Permanent Use)</i>	n.a.	3.5ha (approx) or 5ha (approx)
3	Property #4: Former Fuchun Primary School (29 Woodlands Centre Road) -- <i>Brownfield Site</i>	3+3+3 years <i>(Interim Use)</i>	9,222.8	10,895.2
	and Property #5: "Lots 6160V-PT, 99493M-PT, 98045P-PT, 98044V-PT, 98043W-PT, 98016A-PT, 2230X-PT, 98037L-PT and 98017K-PT MK 23 at Hougang, Hougang Ave 1" -- <i>Greenfield Site</i>	30 years <i>(Permanent Use)</i>	n.a.	5ha (approx) or 7.5ha (approx)
4	Property #6: Former Jurong Town Primary School (2 Hu Ching Road)	3+3+3 years <i>(Interim/Lease Period)</i>	3,915.6 Estimated Gross Floor Area (sqm)	11,460.9 Estimated Land Area (sqm)

(a) or (b)	3111 Ching Road -- <i>Brownfield Site</i>			
	and Property #7: "Lots 4293C-PT and 3810W-PT MK 10 at Bukit Batok, Bukit Batok Road" -- <i>Greenfield Site</i>	30 years (<i>Permanent Use</i>)	n.a.	3.5ha (approx) or 5ha (approx)

Note:

1. Properties #2, #4, #6 are only available on an interim basis for 3+3+3 years. The schools should be prepared to relocate to the purpose-built campuses on properties #3, #5 and #7 within the 9 years tenancy period.

2. The areas and boundaries as shown for Properties #1, #3, #5 and #7 are approximate. The exact boundaries are subject to further refinement by the land authorities prior to any official offer of sites.

3. Schools interested in taking part in this RFI can collect Information Packs containing more details on the 7 Properties from the EDB Counter.

Address: 250 North Bridge Road
Raffles City Tower
Level 18
Singapore 179101

Period of collection: 20 August 2008 – 19 September 2008

Office hours: 9am – 5pm, Mondays to Fridays

Each interested party is entitled to one copy only.

[Back to Top](#)

About the Singapore Economic Development Board

The Economic Development Board (EDB) is the lead government agency responsible for planning and executing economic strategies to enhance Singapore's position as a global hub for business and investment. We are the one-stop agency that facilitates and supports local and foreign investors in both the manufacturing and services sectors as they seek more value-creating operations, higher sustainable returns and new business opportunities.

Singapore commands global leadership positions in many areas. EDB is expanding and extending existing industry clusters, as well as exploring new growth areas to create good jobs and secure Singapore's future competitiveness. Our emphasis is on capital-intensive, knowledge-intensive and innovation-intensive activities. EDB is constantly identifying new business areas to develop both in terms of new technologies as well as new consumer demands, such as our 'clean and green' focus - environmental technologies, urban solutions and clean energy, lifestyle, healthcare and wellness. EDB is also expanding our geographical reach, such as Middle East, in addition to North America, Europe, Japan, China, India and ASEAN.

For more information on how EDB can help in your business and investment, please visit <http://www.sedb.com/>.

About SLA

Singapore Land Authority (SLA) is a statutory board with the Ministry of Law. Its mission is to optimise land resources for the economic and social development of Singapore. SLA is responsible for the direct management of some 14,000 hectares of State land and about 5,000 buildings. It is also in charge of land sales, leases, acquisitions and allocation, developing and marketing land-related information, and maintaining the national land information database through digitised land information services. SLA is also the national land registration authority for property transactions, and the issuance and guarantee of land titles in Singapore. It also manages and maintains the national land survey systems, including the defining of boundaries or legal limits of properties based on a coordinated cadastre survey systems. Please visit www.sla.gov.sg for more information.

[Back to Top](#)

[You may submit your feedback here](#)



23 April 2015

**INTER-AGENCY COMMITTEE TO LAUNCH REQUEST-FOR-INTEREST EXERCISE FOR
FOREIGN SYSTEM SCHOOLS**

***Such schools form important infrastructure for Singapore's continued competitiveness
as a global business hub***

1. An inter-agency committee, chaired by the Singapore Economic Development Board (EDB), will be launching a Request-For-Interest (RFI) exercise for Foreign System Schools (FSS) at a closed-door briefing on 5 May 2015. A number of land parcels, each with a lease period of 30 years, will be made available for FSS use.
2. The RFI exercise will ensure that there is a range of high-quality schools and curricula available to meet the diverse educational needs of children of international executives in Singapore. These schools form an important part of the infrastructure necessary for Singapore to remain an attractive operating base and investment destination for international companies.
3. "Availability of quality schools for children of international executives is a key consideration when they decide on a posting location. Foreign system schools play a part in strengthening Singapore's position as an attractive global city and home for business. The long tenure of the RFI land sites will encourage schools to invest in the necessary infrastructure and resources to deliver high-quality education options," said Mr. Alvin Tan, EDB's Assistant Managing Director and Chair of the inter-agency RFI committee.
4. The RFI exercise was first launched in 2008, to provide a competitive process for FSS to obtain long-term land sites. These are 30-year lease sites that are zoned for educational use. In addition to new FSS entrants, the RFI exercise also provides an opportunity for existing FSS occupying short-term premises to invest for the long term and enhance the quality of their education offerings.
5. Applications will be evaluated based on the quality of the proposal, the track record of the FSS, its ability to meet market demand, as well as the financial ability of the FSS operator. More details on the evaluation criteria and RFI sites will be provided at the closed-door briefing on 5 May 2015. Interested parties are invited to register by emailing RFI_2015@edb.gov.sg no later than 12pm on 5 May 2015.

*_*_* END *_*_*

ABOUT THE EDB

The Singapore Economic Development Board (EDB) is the lead government agency for planning and executing strategies to enhance Singapore's position as a global business centre. EDB dreams, designs and delivers solutions that create value for investors and companies in Singapore. Our mission is to create for Singapore, sustainable economic growth with vibrant business and good job opportunities.

EDB's Home strategy articulates how we are positioning Singapore for the future. It is about extending Singapore's value proposition to businesses not just to help them improve their bottom line, but also to help them grow their top line through establishing and deepening strategic activities in Singapore to drive their business, innovation and talent objectives in Asia and globally.

For more information on EDB, please visit www.sedb.com

For media enquiries, please contact:

Ms. Qinyan Yu

Marketing & Media Relations

Singapore Economic Development Board

Tel: (65) 6832-6427

Mobile: (65) 97339437

Email: yu_qinyan@edb.gov.sg

2015 Request-for Interest for Foreign System Schools

1. This is a Request-for-Interest exercise, and does not constitute an offer of the sites listed. The Singapore Government reserves the right to decide whether to proceed with awarding the sites at the end of the exercise, and to vary the specifications of the sites at its discretion.
2. Long-term sites available through the RFI exercise are zoned specifically for education. This is unlike short-term sites tenanted to FSS, which will eventually be recalled by land planning agencies for long-term development.¹
3. The RFI exercise will be launched at a closed-door briefing. All interested parties who are keen to learn more about this initiative and who may wish to participate are invited to attend. Details of the briefing are as follows:

Date : 5 May 2015

Time : 4.00 p.m.

Venue : The Treasury Auditorium, 100 High Street, Singapore 179434

Interested parties should register by emailing RFI_2015@edb.gov.sg.

4. Interested FSS are invited to submit proposals for specific sites, and may bid for multiple sites. Interested FSS can collect a full set of tender information at the closed-door briefing, or from 9 am on 6 May 2015 up to 5pm on 5 June 2015 at:

Economic Development Board

250 North Bridge Road

Raffles City Tower, Level 22 (Mailroom)

Singapore 179101

5. Participating FSS should ensure their proposals are received by 5pm on 5 August 2015. Only shortlisted FSS will be notified to attend interviews by the Committee. The interviews are expected to be held in Singapore in August 2015.
6. Site details for RFI 2015 will be released on 5 May 2015.

For RFI enquiries, please contact:

Ms. Ann Kwan

Human Capital Division

Tel: (65) 6832-6199

Email: ann_kwan@edb.gov.sg

¹ To facilitate a smooth transition for FSS on short-term sites, the government will ensure sufficient advance notice is provided to affected FSS, and where necessary, provide assistance for students in affected FSS.

ANNEX B

Factsheet on the Request-for-Interest (RFI) exercise for Foreign System Schools (FSS)

Q: When was the first RFI held?

A: The RFI exercise was first launched in 2008. The second and third RFI exercises were held in 2010 and 2012.

Q: Who are the winners so far?

A: Cognita was the RFI 2008 winner and established the Stamford American International School. Dulwich College and GEMS Education won RFI 2010 and both started operations in 2014. The Overseas Family School and the Global Indian International School won RFI 2012 and both are progressing with their respective development plans.

Q: How many sites have been offered under previous RFIs?

A: A total of 16 sites have been offered under the previous three RFIs. These include seven sites in the RFI 2008 exercise, five sites in the RFI 2010 exercise, and four sites in the RFI 2012 exercise. Some of sites have been offered for more than one exercise.

Q: Who sits on the RFI Evaluation Committee?

A: Chaired by the EDB, other members of the RFI evaluation committee include the Council for Private Education (CPE), Monetary Authority of Singapore (MAS), Ministry of Education (MOE), Ministry of Trade and Industry (MTI), National Population and Talent Division (NPTD), Singapore Land Authority (SLA), and Urban Redevelopment Authority (URA).

*_*_*